

製品安全データシート(MSDS)

1.製品および会社情報

製品名	クラディスアンダー
品番	PC-TCT-20
会社名	プラナスケミカル株式会社
住所	〒458-0034 名古屋市緑区若田2-1008
連絡先	電話番号 052-629-0170 FAX番号 052-629-0177
緊急連絡先	電話番号 同上
作成・改訂	作成:2011年9月8日
製品の種類	クラディス工法用アンダーコート

2.危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性
健康に対する有害性

引火性液体	区分外
急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分4
急性毒性(吸入:蒸気)	区分2
皮膚腐食性・刺激性	区分4
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1:中枢神経系、血液、腎臓、肝臓
	区分3:気道刺激性
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分2:血液
環境に対する有害性	区分3
吸引性呼吸器有害性	区分3
水生環境有害性(急性)	区分2
水生環境有害性(慢性)	区分3

【GHSラベル要素】



【注意喚起語】 【危険有害性情報】

危険
 飲み込むと有害(経口)
 皮膚に接触すると有害(経皮)
 吸入すると生命に危険(蒸気)
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 中枢神経・血液・腎臓・肝の障害
 呼吸器への刺激のおそれ
 長期又は反復ばく露による血液の障害のおそれ
 水性生物に毒性

【注意書き】

安全対策

使用前にMSDSをよく読み 理解したのち取り扱うこと。
 本製品の取扱説明書入手し、これに従って作業すること。
 作業場所は換気を良くし、蒸気・飛沫を吸い込まないこと。
 できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じてマスク、保護眼鏡、保護手袋、前掛け等を着用すること。
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。
 本製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行うこと。
 汚染された衣料は脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 環境への放出を避けること。

救急処置

火災の場合には適切な消火方法をとること。
 吸入した場合には空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 飲み込んだ場合には直ちに医師の診断、手当てを受けること。

保管
廃棄

【国/地域情報】

眼に入った場合には水で数分間、注意深く洗い、医師の診断を受けること。
 皮膚(又は毛髪)に付着した場合には多量の水と石鹼で洗うこと。
 衣類にかかった場合には直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
 容器を密閉し、冷暗所に保管すること。
 廃棄は、当該自治体の規則に従う。
 データなし

3.組成、成分情報
化学物質の特定
成分及び含有量

混合物			
成分名	含有量(%)	CAS NO.	備考
アクリル酸エステル共重合体	40～50	非公開	-
ブチルセロソルブ	2～5	111-76-2	安衛法第57条の2
テキサノール	2～5	25265-77-4	-
添加剤	1未満	非公開	-
水	45～55	7732-18-5	-

※PRTR非該当製品

4.応急措置

眼に入った場合 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受ける。
 コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。

皮膚に付着した場合 付着物を布にてふき取り、水と石鹼で洗浄して洗い落とすこと。
 外観に変化が見られたり痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合 気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の中で安静を保ち、必要なら医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 無理に吐き出さずに、速やかに医師の診断を受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗う。

5.火災時の措置

消火剤 小火災： 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
 大火災： 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤 棒状注水

特有の消火方法 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
 引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果がない大火災の場合には散水する。
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6.漏出時の処理

人体に対する注意事項 危険区域から立ち退く。専門家に相談する。
 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
 処理に際して、作業者は適切な保護具(8.ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
 関係者以外の立入りを禁止する。
 保護衣を着用する。
 風上に留まる。
 低地から離れる。
 密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

除去方法 少量の場合：
 乾燥土、砂や、不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
 また、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。
 大量の場合：
 盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
 散水は蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが

封じ込め及び浄化の方法・機材	できない恐れがある。 危険でなければ漏れを止める。 漏出物を取り扱う場合に用いる設備はアースをとる。 蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに除く(周辺での喫煙・火花・火炎の禁止) 排水溝、下水道、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は、保護手袋、保護メガネ等の保護具を着用すること。 蒸気やミストを吸入する可能性がある場合は、呼吸器具等の保護具を着用し、通気の良い場所で作業すること。
保管条件	取り扱いのつど、容器を密閉すること。 容器は直射日光や火気を避けること。 床面等は万一漏洩があっても公共用水域及び地下に浸透しないように防止すること。 酸化剤から離して保管すること。
容器の取り扱い	容器に圧力をかけないこと。圧力をかけると破裂することがある。 容器は溶接・加熱・穴あけまたは、切断しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。 気中濃度を推奨された管理濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用すること。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置すること。
管理濃度	25ppm(ブチルセロソルブ)
許容濃度	未設定
保護具	呼吸器の保護具 適切な呼吸器保護具を着用すること。 保護眼鏡 適切な眼の保護具を着用すること。安全眼鏡を着用すること。 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) 保護手袋 適切な保護手袋を着用すること。 (ニトリルゴム及び塩ビは適切な保護材料ではない。ネオプレンが推奨) 保護衣 適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物質的及び科学的性質

外観	色 乳白色 状態(25℃) 液体
特性	臭い 微アクリル臭 沸点 水に準拠(≥100℃) PH(25℃) 6.5~9.5 比重(20℃) 1.0~1.2 g/cm ³ 溶解性 水に容易に分散する 引火点(COC) データなし 自然発火温度 データなし 爆発限界 下限データなし、上限 データなし 燃焼性(個体・ガス) 水分の蒸発後、燃焼性あり

10. 安全性及び反応性

安定性	安定性良好
危険有害反応可能性	強酸化剤と反応し火災の危険をもたらす。
避けるべき条件	高温、強酸化剤、強アルカリとの接触回避。
混合危険物質	強酸化剤、強アルカリ。
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

製品の有害性 発癌性、変異原性に関し、現在のところ有用な情報なし。
 飲む有害(区分4)
 皮膚に接触すると有害(区分4)
 ミストを吸入すると生命に危険(区分2)
 強い眼刺激(区分2A)
 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 中枢神経系、血液、腎臓、肝臓の障害(区分1)
 呼吸器への刺激の恐れ(区分3)
 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 長期または、反復ばく露で血液の障害のおそれ(区分2)

急性毒性

ブチルセロソルブ				
ACGIH(TLV-TWA)	IARC	その他の毒性		
20ppm	-	経口:ラット	LD50	1746mg/Kg
		経皮:ウサギ	LD50	99mg/Kg
テキサノール				
ACGIH(TLV-TWA)	IARC	その他の毒性		
-	-	経口:ラット	LD50	3200mg/Kg
		経皮:モルモット	LD50	20mg/Kg
		吸入(蒸気):ラット	LC50	3.55mg/L/6h

12.環境影響情報

分解性	現在までのところ有用な情報なし
蓄積性	現在までのところ有用な情報なし
環境基準	現在までのところ有用な情報なし
生態毒性	
	魚毒性(LC50)
ブチルセロソルブ	5.4mg/L 甲殻類(グラスシュリンフ) 96時間
テキサノール	96mg/L 甲殻類(オオミジンコ) 96時間

13.廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
 容器は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制	該当しない
国連分類	該当しない
国連番号	なし
容器等級	なし
注意事項	①運搬に際し、容器の漏れのない事を確認し、落下、転倒、衝突を避ける。 ②消防法、安衛法、船舶安全法等 法令に該当する場合は、その定めるところに従うこと。

15.適応法令

①消防法	非危険物(製品として)
②労働安全衛生法	安衛法57条2項
③化審法・指定物質	非該当
④PRTR法	非該当
⑤海洋汚染防止法	非該当
⑥水質汚濁防止法	非該当

16.その他情報

問合せ先 プラナスケミカル株式会社
 本データシートは安全の保証書ではありません
その他 記載された情報は新しい知見に基づき改訂することがあります。
 製品安全データシートは、危険有害な化学物質について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者はこれを参考とし自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処理を講じる必要があります。
 あることを理解した上で使用されるようお願いいたします。